

三郷学で構想する まちづくりワークショップだより

第2号

平成22年
9月1日発行

- ◆〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1
- ◆電話：048-930-7763 / FAX：048-953-1169
- ◆ホームページ：http://www.city.misato.lg.jp/
- ◆三郷市 企画総務部 企画調整課

「第2回三郷学で構想するまちづくりワークショップ」を開催！

三郷市自治基本条例や第4次三郷市総合計画の内容を実現するための基盤づくりの政策として「三郷学」を位置づけています。8月5日（金）は、第2回目のワークショップが開かれました。

はじめに、市の説明によりワークショップのねらいを参加者全員であらためて確認しました。来年2月まで続くこのワークショップでは、最終的に①政策形成ハンドブック案と②三郷学講座カリキュラム案を作ります。また、実際に議論することの楽しさやファシリテートの必要性を実感していただくことをねらいとしています。

次に、今回のワークショップ全体を通じてお手伝いいただいている龍谷大学法学部の土山希美枝准教授から次のような説明がありました。

（土山准教授の説明）

今回も、前回と同じようにファシリテーターにきていただいております。皆さんの議論の中で、つなぎひきだすことを助けてもらいます。ファシリテーターとは「何かをしやすくする人」ということなのですが、まさに議論したり、つなぎひきだしたりするのを支援してくれる人です。ただ、次回からはその方もおられなくて、皆さんで議論していただくことが前提となりますので、ファシリテーターの（技）とかコツとかを一緒に学んでしまおうというのが今回の目的です。議論を体験しながらどうしたら議論しやすくなるのかなというのをご自身でも学んでいただくというのが今日の目標です。次回以降、皆さんがつなぎひきだす人になる練習も兼ねています。ファシリテーターの見本をみせてもらいつつ、自分も議論を楽しむというのが今回のポイントです。



土山希美枝 先生

今回は、参加者とか司会にはどういったコツがあるのかということ、することを通して、どうしたらいい議論になるのかということを経験してもらいます。

なお、議論には4つのプロセスがあります。アイスブレイク、発散、構造化（整理）、まとめです。

議論するのも時間が限られているのでルールがあります。どんなルールかというと、時間を独り占めないこと。それから、自分が喋って終わりではなく、相手の話もよく聞く。また、聞いているときに、うな

ずいたり相槌をうつと相手はほっとします。あと、いきなり最初から否定的に入らない。あっという間に巨大な氷の塊ができてしまいます。こういったことを守って進めてください

（その後、議論する3グループと観察する3グループに分かれて、「三郷市一番のお宝、資源を発見」というテーマで議論し、その後議論したグループと観察したグループが一緒になって議論について検証しました。また最後には、各グループが参加者全員に対して各グループでの議論の内容について発表しました。

〈議論するグループメンバーとそれを取り囲むようにして観察するグループメンバー；他〉

